




三井松島産業株式会社

2010年3月期決算説明資料
2010年5月

2010年3月期決算報告 ……P.3

2011年3月期連結業績予想 ……P.10

今後の成長戦略 ……P.14

附属資料 ……P.19

2010年3月期決算報告

2010/3月期決算一連結損益計算書

ポイント

経常利益及び当期純利益は、過去最高益。

- 売上高 燃料事業における石炭価格の大幅な下落並びに建機材事業における与信管理の厳格化等により減少。
- 営業利益 燃料事業における石炭価格の大幅な下落により営業利益が減少したものの豪州子会社における堅調な業績により、4,803百万円を達成。
- 経常利益 営業外収益に為替差益922百万円(前期は営業外費用に為替差損1,922百万円)を計上し、5,250百万円となった。
- 当期純利益 当期は、前期のような投資有価証券評価損など多額な特別損失の計上がなかったことから3,463百万円となった。

(単位:百万円)	2009/3期	2010/3期	対前期比較
	金額	金額	増減額
売上高	107,691	61,014	▲46,676
営業利益	6,441	4,803	▲1,637
営業外収益	393	1,178	784
営業外費用	2,583	731	▲1,852
経常利益	4,251	5,250	999
特別利益	1,415	604	▲810
特別損失	3,658	539	▲3,118
税金等調整前当期純利益	2,008	5,315	3,307
法人税、住民税及び事業税	2,410	1,318	▲1,091
法人税等調整額	849	533	▲316
当期純利益	▲1,251	3,463	4,714

2010/3月期決算－連結セグメント情報

ポイント

- **燃料事業** 石炭価格の大幅な下落により売上高は52,145百万円(前期比▲35,407百万円)となったものの、前期に引き続き豪州子会社の堅調な業績により、営業利益5,698百万円(前期比▲943百万円)となった。
- **建機材事業** 不動産市況・建設業況の悪化並びに与信管理の厳格化等により、売上高5,978百万円(前期比▲11,247百万円)、営業損失222百万円(前期は、66百万円の営業利益)となった。
- **その他事業** 池島アーバンマインでの設備稼働に伴う償却費負担増等により、700百万円の営業損失(前期は244百万円の営業損失)となった。

【売上高】

(単位:百万円)	2009/3期	2010/3期	対前期比較
			増減額
燃料	87,552	52,145	▲35,407
建機材	17,226	5,978	▲11,247
不動産	606	523	▲83
スーパー	1,921	1,852	▲68
その他	384	514	130
消去	—	—	—
合計	107,691	61,014	▲46,676

【営業利益】

(単位:百万円)	2009/3期	2010/3期	対前期比較
			増減額
燃料	6,642	5,698	▲943
建機材	66	▲222	▲289
不動産	22	20	▲1
スーパー	▲1	5	7
その他	▲244	▲700	▲455
消去	▲43	1	45
合計	6,441	4,803	▲1,637

売上高は外部顧客に対する売上高を表示しています。

ポイント

- 石炭輸入販売部門 石炭価格の大幅な下落並びに販売量の減少により、売上高、営業利益の減少。
- 石炭生産部門 石炭価格が大幅に下落したものの、石炭販売量の増加、為替の好転、4月～6月におけるキャリーオーバー分の売上高計上により、営業利益5,592百万円を達成。

【売上高】

(単位:百万円)	2009/3期	2010/3期	対前期比較 増減額
石炭輸入販売部門	75,427	42,285	▲33,142
販売数量	477万トン	469万トン	▲8万トン
石炭生産部門	15,711	13,379	▲2,332
販売数量	126万トン	139万トン	13万トン
その他の部門	2,230	1,422	▲808
消去	▲5,816	▲4,941	875
燃料事業合計	87,552	52,145	▲35,407

【営業利益】

(単位:百万円)	2009/3期	2010/3期	対前期比較 増減額
石炭輸入販売部門	105	66	▲39
石炭生産部門	6,448	5,592	▲856
その他の部門	34	76	42
消去	55	▲36	▲91
燃料事業合計	6,642	5,698	▲943

※「その他の部門」とは、海上運送、倉庫業、揚炭業等の事業を示します。

【主要指標】		2009/3期(2008年1月～12月)実績	2010/3期(2009年1月～12月)実績
石炭平均価格 (石炭生産部門)	一般炭	US\$ 118.60	US\$ 93.93
	非・微粘結炭	US\$ 189.96	US\$ 113.08
為替レート	円/US\$ (実行平均レート)	100.17 円	92.90円
	US\$/A\$ (実行平均レート)	US\$ 0.8987	US\$ 0.7251
	円/A\$ (期中平均レート)	88.60 円	73.97円
石炭輸入販売平均価格(石炭輸入販売部門)		15,823 円(2008年度)	9,024 円(2009年度)

※ 石炭生産部門・・・12月決算、石炭輸入販売部門・・・3月決算

2010/3月期決算一連結貸借対照表

	2009/3月末		2010/3月末		増減額 (百万円)	主な増減要因
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
流動資産	19,269	42.1	18,685	38.1	▲583	現預金+5,168 売上債権▲5,165、棚卸資産▲257
固定資産、繰延 資産	26,506	57.9	30,297	61.9	3,791	有形無形固定資産+1,829 投資有価証券+2,318
資産合計	45,775	100.0	48,983	100.0	3,207	
流動負債	18,309	40.0	12,625	25.8	▲5,683	仕入債務▲1,682 短期借入金▲3,541
固定負債	18,425	40.3	16,153	33.0	▲2,271	社債▲1,375 長期借入金▲957
負債合計	36,735	80.3	28,779	58.8	▲7,955	
純資産合計	9,040	19.7	20,203	41.2	11,163	当期純利益+3,463、増資+4,494 有価証券評価+1,918、為調+1,457 (自己資本比率19.7% → 41.2%)
負債・純資産計	45,775	100.0	48,983	100.0	3,207	

2010/3月期決算—連結キャッシュ・フロー—

(単位:百万円)	2009/3期	2010/3期	増減額	主な要因(2010/3期)
税金等調整前当期純利益	2,008	5,315	3,307	<ul style="list-style-type: none"> ・営業利益の計上による増加 ・営業債権減少による運転資金増加 ・法人税の支払いによる減少
運転資金	▲425	3,841	4,266	
その他	605	▲1,620	▲2,226	
営業活動によるC/F	2,188	7,536	5,347	
固定資産の取得	▲2,329	▲2,299	30	<ul style="list-style-type: none"> ・三井松島オーストラリアにおける機械装置及び池島アーバンマインのプラント設備投資による減少
その他	▲2,394	649	3,044	
投資活動によるC/F	▲4,724	▲1,649	3,074	
借入金・社債の増減	2,090	▲5,176	▲7,266	<ul style="list-style-type: none"> ・借入金の返済及び社債の償還による減少 ・増資による増加
株式の発行	—	4,462	4,462	
その他	▲325	▲331	▲5	
財務活動によるC/F	1,765	▲1,045	▲2,810	
現金及び現金同等物換算差額	▲909	555	1,465	
現金及び現金同等物の増減額	▲1,680	5,397	7,077	
現金及び現金同等物の期首残高	10,076	8,396	▲1,680	
現金及び現金同等物の期末残高	8,396	13,794	5,397	

参考 主な財務指標の推移(過去5年間実績)

	2006/3期	2007/3期	2008/3期	2009/3期	2010/3期
売上高 (百万円)	57,015	53,210	75,097	107,691	61,014
営業利益 (百万円)	1,878	1,982	1,182	6,441	4,803
経常利益 (百万円)	1,408	1,505	837	4,251	5,250
当期純利益 (百万円)	252	716	2,367	▲1,251	3,463
1株当たり当期純利益(EPS) (円)	3.35	8.42	22.51	▲11.89	29.99
純資産額 (百万円)	8,116	11,628	13,813	9,040	20,203
自己資本比率 (%)	16.3	23.2	25.8	19.7	41.2
有利子負債(社債含む)残高 (百万円)	29,355	25,202	23,101	24,952	19,908
D/Eレシオ (倍)	3.62	2.17	1.67	2.76	0.99
1株当たり純資産額(BPS) (円)	98.35	110.48	131.35	85.97	145.71
自己資本利益率(ROE) (%)	3.91	7.26	18.62	▲10.95	23.69
発行済株式総数 (千株)	82,538	105,178	105,178	105,178	138,677
1株当たり配当額 (円)	—	2.00	3.00	3.00	4.00

※ 上記指標数値は、原則有価証券報告書記載数値を基に作成しております。

2011年3月期連結業績予想

2011/3期 連結業績予想

- 売上高

燃料事業において現在確定している第一四半期(4月～6月)の石炭価格を前提として見込んだところ、主に国内における石炭売上高が増加することにより増収になる見込み。但し豪州子会社においては、決算期が12月であり、第一四半期(1月～3月)は平成21年度の安価な石炭価格となっている。
- 営業利益・経常利益

豪州子会社において、第一四半期(1月～3月)に平成21年度の安価な石炭価格での販売があること、また第二四半期(4月～6月)にリデル炭鉱の自社操業体制への移行による一時的なコスト増が発生することにより、上期の営業利益、経常利益は下期に比べ低調となる。

又、豪州子会社の為替レートは、A\$1=US\$0.90を前提としており、平成21年度の平均実行為替レートA\$1=US\$0.7251に比べ約24%の悪化となっている。
- 当期純利益

投資有価証券売却益の計上(平成22年2月12日開示)等により、当期並みの34億円を見込む。

	2010/3期実績 金額 (百万円)	2011/3期予想 金額 (百万円)		増減額	
		上期計	下期計		
売上高	61,014	36,000	40,000	76,000	14,985
営業利益	4,803	1,000	2,500	3,500	▲1,303
経常利益	5,250	900	2,200	3,100	▲2,150
当期純利益	3,463	1,500	1,900	3,400	▲63

2011/3月期 事業別セグメント 連結業績予想

ポイント

- 燃料事業 石炭価格の上昇並びに石炭販売数量の増加により、売上高増加の見込み。
リデル炭鉱の自社操業体制への移行による一時的なコスト増加や豪州子会社の決算期が12月であり、当期の安価な価格ベースでの販売が一部織込まれることから営業利益減少の見込み。
- 建機材事業 前期に引続き市況の低迷等により、売上高減少の見込み。
- その他事業 池島アーバンマインにおいて操業体制の確立により、売上高増加及び営業損失の減少見込み。

【売上高】

(単位:百万円)	2010/3期	2011/3期	対前期比較
	実績	予想	増減額
燃料	52,145	67,000	14,854
建機材	5,978	4,700	▲1,278
不動産	523	500	▲23
スーパー	1,852	1,900	47
その他	514	1,900	1,385
消去	—	—	—
合計	61,014	76,000	14,985

【営業利益】

(単位:百万円)	2010/3期	2011/3期	対前期比較
	実績	予想	増減額
燃料	5,698	3,700	▲1,998
建機材	▲222	20	242
不動産	20	10	▲10
スーパー	5	20	14
その他	▲700	▲250	450
消去	1	0	▲1
合計	4,803	3,500	▲1,303

売上高は外部顧客に対する売上高を表示しています。

燃料事業の内訳

【売上高】

(単位:百万円)	2010/3期 実績	2011/3期 予想	対前期比較 増減額
石炭輸入販売部門	42,285	57,700	15,415
販売数量	469万トン	508万トン	39万トン
石炭生産部門	13,379	15,200	1,821
販売数量	139万トン	157万トン	18万トン
その他の部門	1,422	1,200	▲222
消去	▲4,941	▲7,100	▲2,159
燃料事業合計	52,145	67,000	14,854

【営業利益】

(単位:百万円)	2010/3期 実績	2011/3期 予想	対前期比較 増減額
石炭輸入販売部門	66	30	▲36
石炭生産部門	5,592	3,660	▲1,932
その他の部門	76	10	▲66
消去	▲36	0	36
燃料事業合計	5,698	3,700	▲1,998

※「その他の部門」とは、海上運送、倉庫業、揚炭業等の事業を示します。

【主要指標 前提条件】		2011/3期(2010年1~12月)予想		為替変動による 当期純利益影響額
		2010/3期(2009年1月~12月)実績	2011/3期(2010年1月~12月)予想	
石炭価格 (石炭生産部門)	一般炭	US\$ 93.93	US\$ 91.00	US\$/A\$ 1¢豪ドル安に付き 約50百万円増益
	非・微粘結炭	US\$ 113.08	US\$ 146.00	
為替レート	円/US\$ (実行平均レート)	92.90 円	89.00 円	A\$/円 ¥1円安に付き 約30百万円増益
	US\$/A\$ (実行平均レート)	US\$ 0.7251	US\$ 0.9000	
	円/A\$ (期中平均レート)	73.97円	80.00 円	
石炭輸入販売平均価格		9,024 円(2009年度)	11,000円(2010年度)	

※ 石炭生産部門…12月決算、石炭輸入販売部門…3月決算

今後の成長戦略

2010年の世界鉄鋼生産量、過去最高となる予想

MEPS(鉄鋼関連英国調査会社)ホームページ
「鉄鋼ニュース(2010.2.8)」より

世界粗鋼生産量は過去最高の2007年13.4億トンを上回り2010年は13.5億トンに達する予想。
また、2013年には14億トンに達すると予測される。

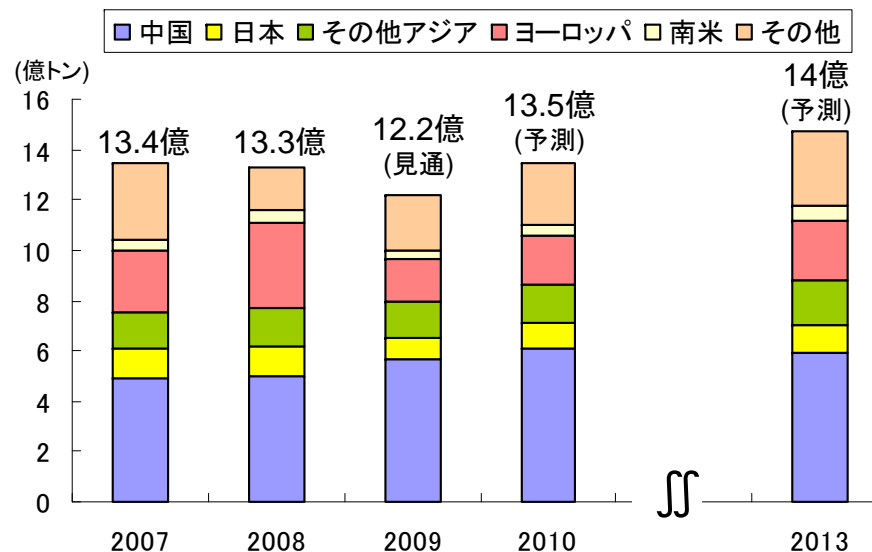
中国、2009年に初めて石炭純輸入国となる

中国国家エネルギー局総合部発表(2010.1.23)

中国の2009年石炭対外依存度は3%で、純輸入量は1.03億トン。(参考:世界最大石炭輸入国である日本の2008年輸入量は1.8億トン。)

中国は石炭を国家備蓄対象とし、年間消費量の1割備蓄の為、備蓄基地(貯炭場)を増設へ。

世界粗鋼生産量の推移



(MEPS Steel News 2010.2.8、2009.4.22号より作成)

世界的に高まる石炭需要

優良な資源、エネルギーソースの確保が重要課題

中核である資源・エネルギー部門への経営資源の集中

■ 成長戦略①

海外の有望石炭資源の発掘、開発、供給ソースの確保

■ 成長戦略②

資源・エネルギー部門の周辺にて新規事業を積極展開

海外の有望石炭資源の発掘、開発、供給ソースの確保

小回りの効く販売活動
多業種に亘る優良需要家への
販売力

松島、大島、池島で培った
鉱山採掘の技術力

投資活動を通じて培った
企画・提案力

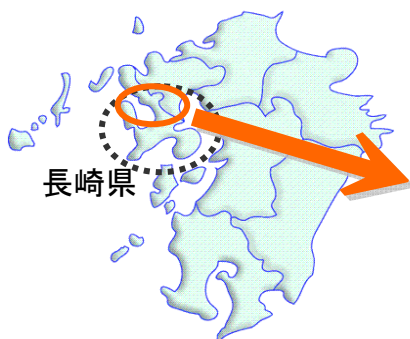
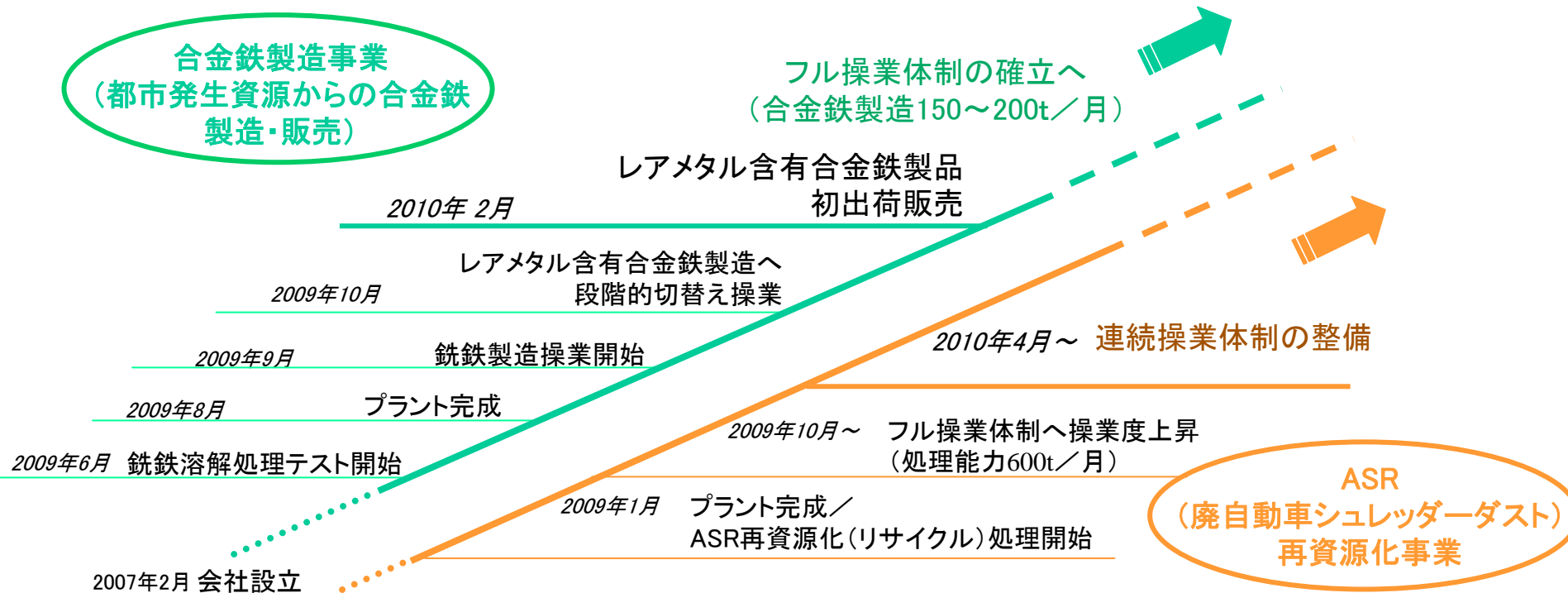
**3つの機能を併せ持つ強みを駆使し
第二、第三のリデルを作り上げる**

※リデル炭鉱・・・JVによる当社保有の豪州の炭鉱

成長戦略② 池島アーバンマイン操業状況

■ 池島アーバンマイン株式会社 (ASR再資源化事業 / 合金鉄製造事業)

炭鉱 (Coal Mine) 跡地 → 都市鉱山 (Urban Mine) へ・・・限りある資源の有効活用、循環型社会に貢献するエコ事業への取り組み



合金鉄出湯の様子

附属資料

2010年3月31日現在

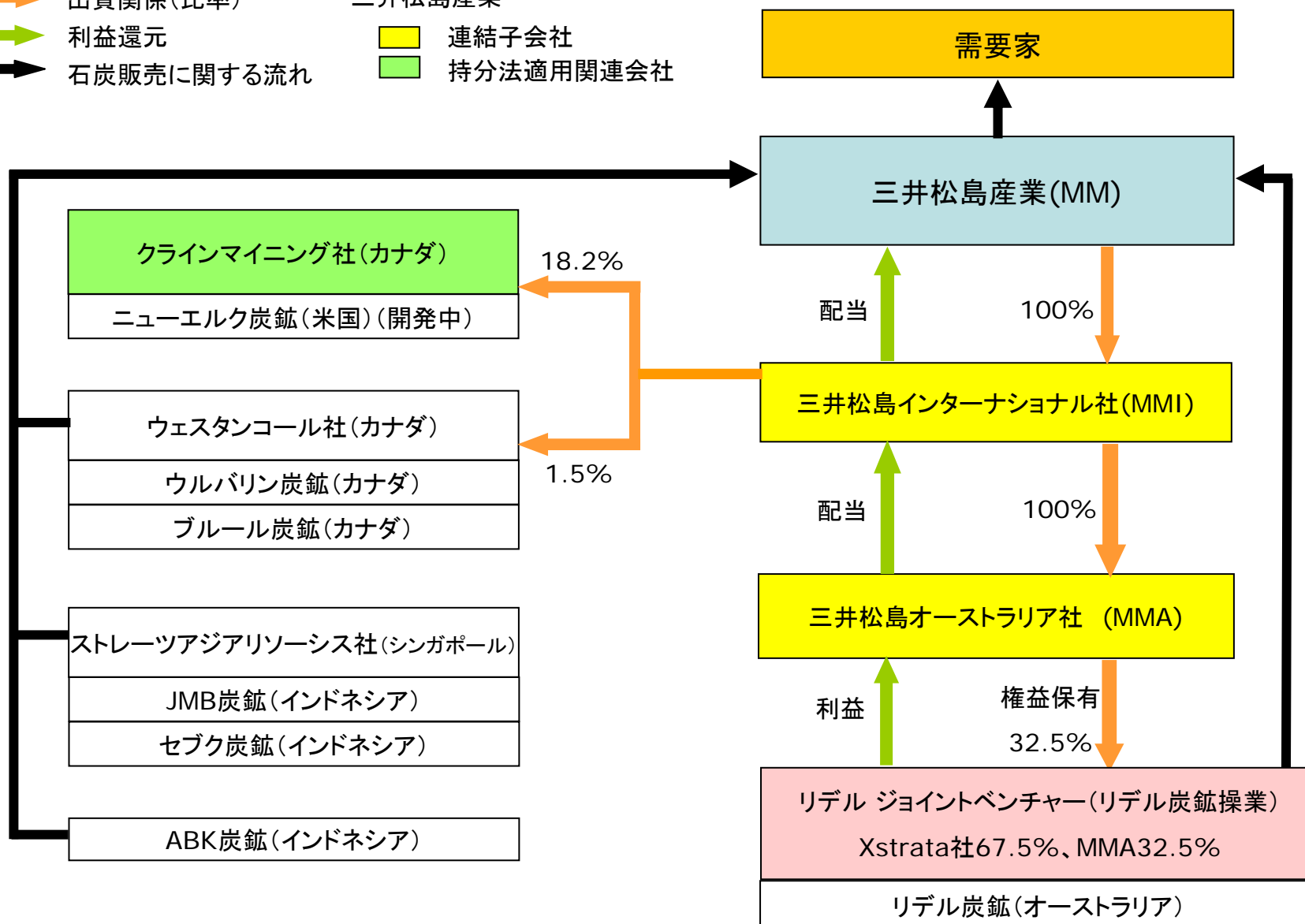
環太平洋エリアに
強力な石炭供給ソースを構築



石炭事業における系統図

2010年3月31日現在

- 出資関係(比率)
 - 利益還元
 - 石炭販売に関する流れ
- 三井松島産業
- 連結子会社
 - 持分法適用関連会社



豪州リデル炭鉱について①

- 運営形態：三井松島オーストラリア社32.5%、Xstrata社67.5%のJV
- 埋蔵量：7億500万t(露天掘4億5,100万t(可採埋蔵量 8,400万t)坑内掘2億5,400万t)
- 生産性：14,022トン(製品炭)/人/年(2009年実績)
(オーストラリアNSW州全体の生産性:11,810トン/人/年(2007-2008年露天掘))
- 生産能力:750万t/年(選炭工場最大処理能力)



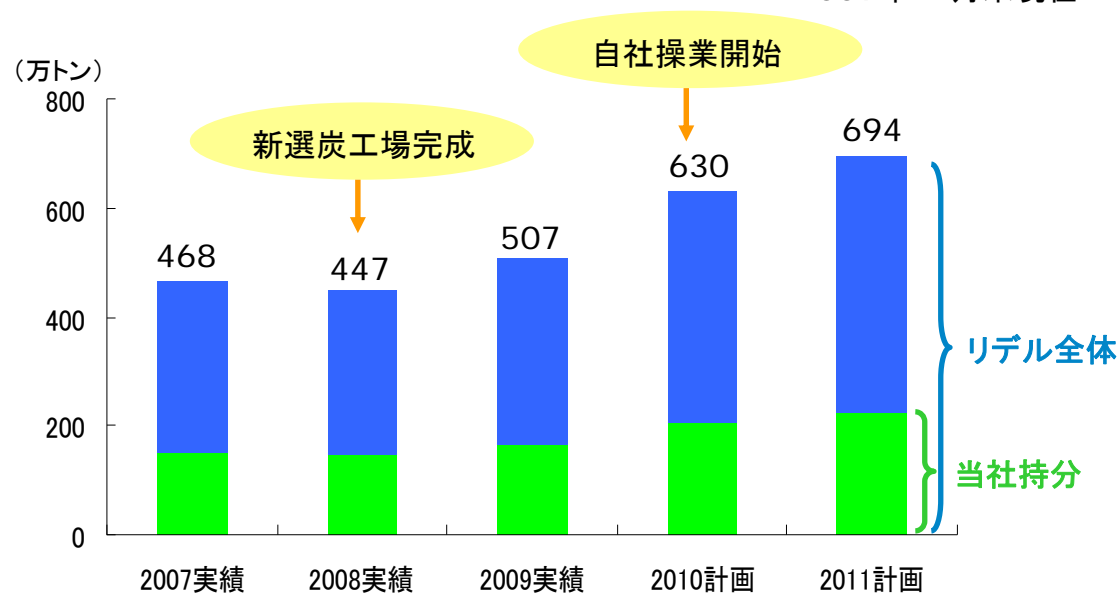
■2010年4月 自社操業開始

- ・操業コスト拡大抑制
- ・選炭工場能力に見合う採炭能力の増加
- ・採掘重機購入設備投資(計画)
三井松島オーストラリア社投資額:約90百万豪ドル
投資時期2010年3月~2010年12月



< リデル炭鉱生産(原炭)実績と計画 >

2009年12月末現在

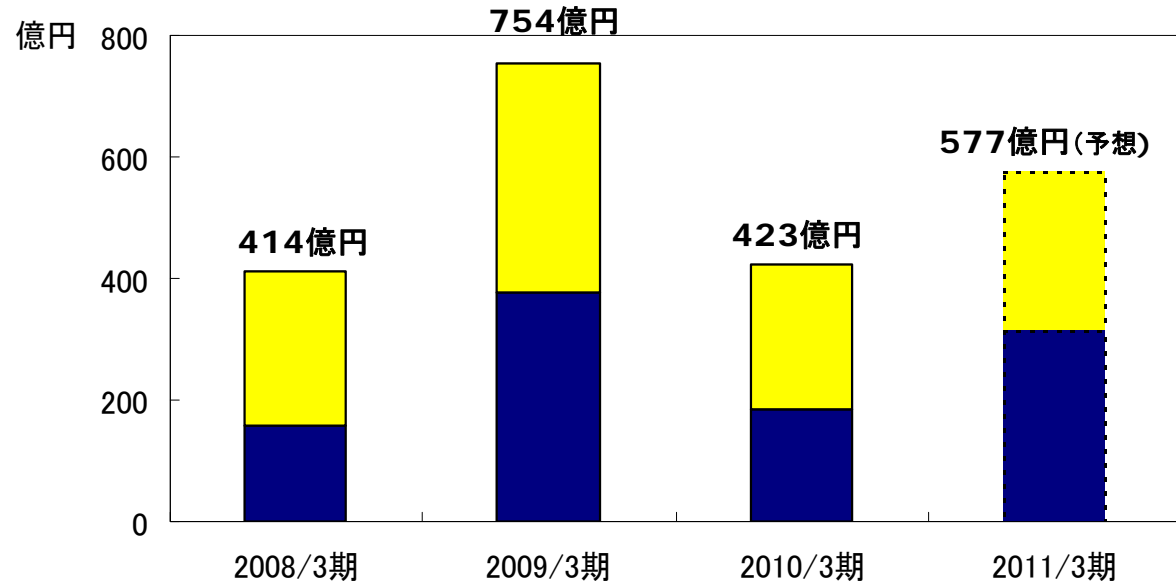


エクスカベータと大型トラック

石炭輸入販売 石炭種別の推移

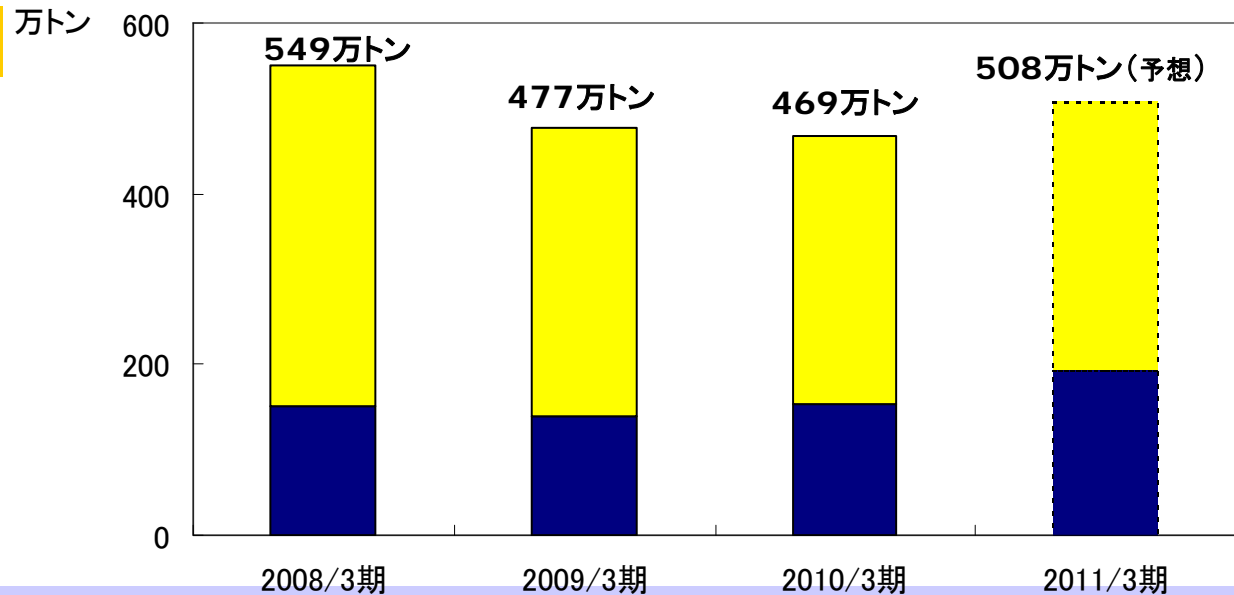
石炭種別 売上高の推移

■ 一般炭
■ 原料炭



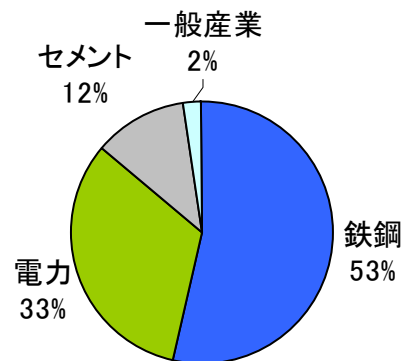
石炭種別 販売数量の推移

■ 一般炭
■ 原料炭

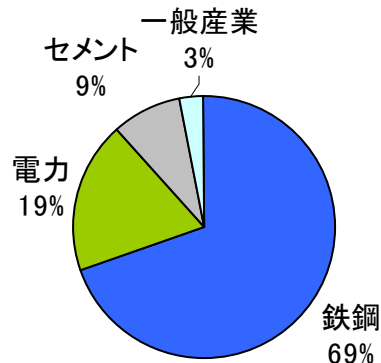


石炭輸入販売 顧客業界別構成比の推移

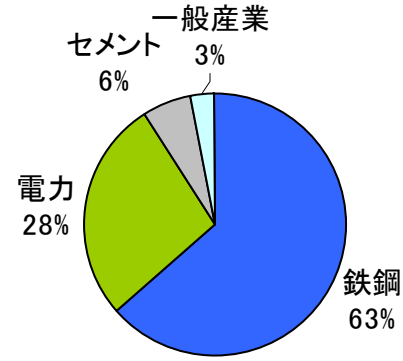
顧客業界別 石炭売上高構成比



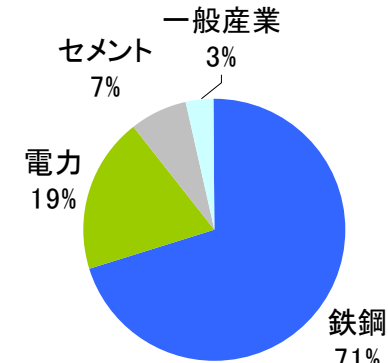
2008/3期(414億円)



2009/3期(754億円)

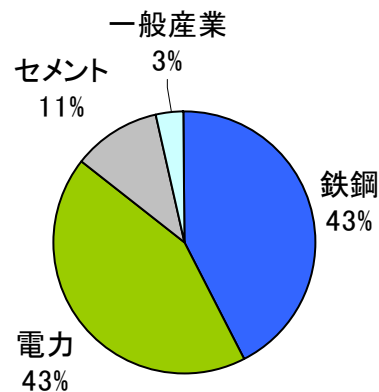


2010/3期(423億円)

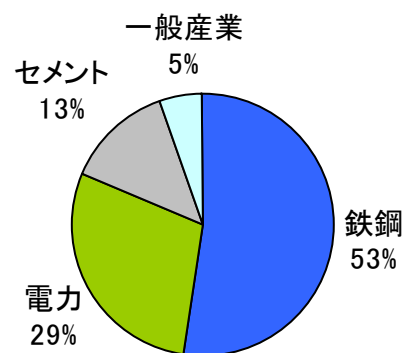


2011/3期(577億円)予想

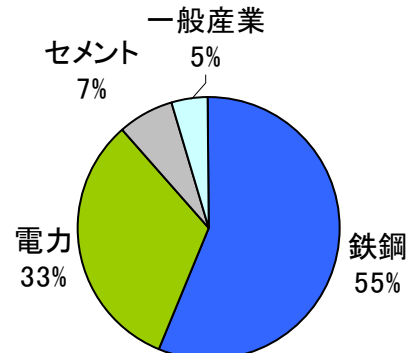
顧客業界別 石炭販売数量構成比



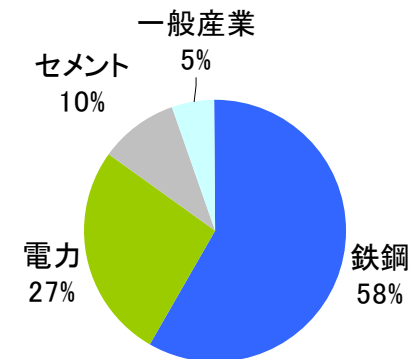
2008/3期(549万トン)



2009/3期(477万トン)



2010/3期(469万トン)



2011/3期(508万トン)予想

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれます。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、予想対比で変化する可能性があることにご留意下さい。


IR問い合わせ先

総務部部長 松本 真士

総務課長 齊藤 謙治

総務課長 中村 昌彦

TEL 092-771-2171

 **三井松島産業株式会社**